

2月17日 大好きなことをつきつめると

土曜日のラン RUN フェスティバル、みなさんががんばりましたね。RUN フェスティバルは、長距離を走るのが得意な人が先頭でゴールをすることができましたが、千束小学校では、音読を覚えるのが得意な人、漢字を書くのが得意な人の漢字検定、ブラスバンドで頑張っている人など、様々なジャンルで、お互いの努力を認め合うことができます。これは、千束小学校の、とても素敵な所だと思っています。今週の土曜日、21日には、5年生のビーチボールバレーの大会があります。結果はどのようになるか分かりませんが、ここまで努力を積み重ねてきたことが、本当に素晴らしいことです。



さて、今日は、2階の算数教室に貼ってある、小森日菜子さんという子を紹介した新聞記事についてお話しします。1, 2年生の算数を教えてくれている鵜澤道子先生が、小森さんの1年生のときの担任だったということで、校長先生も鵜澤先生からお話を聞きました。



日菜子さんは、小さいころから動物、とくにニホンオオカミに興味をもっていました。ニホンオオカミのはく製を見に行くなど、小学生のときから色々調べていたそうです。ニホンオオカミというのは、絶滅してしまった種で、はく製も世界に5体しかない貴重なものでした。

日菜子さんが4年生のときに、茨城県にある国立科学博物館の研究施設に見学に行きました。そのときに見た「ヤマイヌの一種」とされるはく製がニホンオオカミによく似ていて、ニホンオオカミのはく製なのではないかと考えたそうです。博物館にメールをして問い合わせたり、実際に博物館の研究者に質問したり、標本の台帳を調べたりと、たくさんの方法で調べて、ついに、

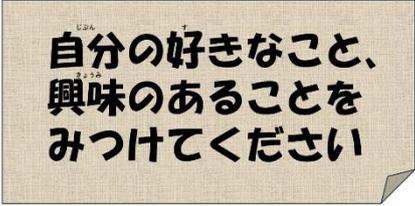
6体目のニホンオオカミのはく製であることが証明されました。さらに、小学校6年生のときには、大学の研究者と一緒に学術論文という、大学の先生が発表するような文を書いて認められ、研究者が集まる学会で発表もしたそうです。

こことても短く話しましたが、ニホンオオカミのはく製であることを証明するのは本当に大変で、苦勞と努力の連続でした。そのこと



が1冊の本にもなっています。図書室でも読めるようにしますので、興味のある人は手に取ってみてください。

好きなこと、興味のあることをつきつめて調べると、色々なことが分かってくるのですね。みなさんも、どんなきっかけで、何に興味をもつようになるか分かりません。学校や地域でたくさん学び、たくさんの経験をして、自分の好きなこと、興味のあることを見つけられるといいですね。



**自分の好きなこと、
興味のあることを
つけてください**